

大村仁太郎 おほむら にんたろう ドイツ語學・教育學者。文久二年九月（二十五日）江戸小石川生れ。明治四十年六月五日歿（八六二一八九七）。號桃圃。明治二十二年外國語學校卒、在學中ドイツ語補助教員となる。（二十二年獨逸語學校學校長を兼せし）、獨逸語學雜誌』を創刊。獨逸學士協會學校幹事、私立青得館館務に任じ、大學豫備門、第一高等中學校、陸軍大學校、醫學學院等への教鞭を執つた。また山口小太郎、谷口秀太郎と共に『高等獨逸讀本』（上巻・明治二十二年七月十五日獨逸學協會出版部）等のドイツ語教科書、參考書を出版、普及教育に及んだ。一方、アマス（マツチアス）著『太郎の知何教育キツツ』（明治二十八年四月二十日同文館、縮刷・大正二年十月二十日同文館「同文叢書」）、ザルツマン原著『教育者我々の美德』（再版・明治二十八年七月十七日同文館）、同『教育者の教師』（明治二十九年四月十五日同文館）等の教育書を譯編刊行。

著書に『乙女の生涯』（明治二十九年十一月二十日精華書院）、遺稿集『桃圃漫筆』（明治四十年七月十五日精華書院）等。

